

全建総連支援対策本部ニュース(No.4)

全建総連支援対策本部

4月の活動者会議は延期

4月に予定されていた以下の全建総連の活動者会議は、すべて延期します。

- ・ 社会保障活動者会議
- ・ 労働安全衛生活動者会議
- ・ 技術対策活動者会議
- ・ 全労済推進会議

全建総連は通常通り勤務

全建総連会館のある首都圏は、3月14日早朝から東京電力による計画停電が始まりました。そのため、首都圏の鉄道など公共交通機関に大きな影響が出ています。書記局員の出退勤にも、深刻な影響が出ています。

しかし、全建総連書記局は、通常通り勤務しています。

被害の多い4組合にまず100万円送金

全建総連の特別会計に「激甚災害支援金特別会計」があります。今回、被害を多く出している岩手県連、宮城県連、全建総連福島、茨城県連にこの特別会計から400万円を引き出し、100万円ずつお見舞いとして送りました。

全建総連・加藤元委員長からも激励

14日午後、全建総連元委員長の加藤忠由さんから古市書記長に電話が入り「復興

支援のため、頑張ってもらいたい」との激励がありました。

B W I からお見舞いのメッセージ

B W I（国際建設林産連盟）アジア太平洋地域事務所・トレンチノ代表から全建総連に、東日本大地震のお見舞いのメッセージがメールで届きました。

各組合の状況

【北海道連】

道内の組合員の被害について報告はありません。函館市の組合員のうち 1 人が岩手県陸前高田市で、3 人が宮城県仙台市若林区で就労しており連絡がつきません。

【青森県連】

八戸市の組合長と連絡がとれましたが、自身の家は津波で床上まで浸水したとのこと。他の組合員の状況は、まだ分かりません。

【岩手県連】

太平洋沿岸にある 3 単組のうち、釜石の組合長が無事なのは確認できました。宮古と大槌の組合は、連絡がとれません。

【宮城県連】

宮城県連・桜井事務局長より連絡がありました。

「自宅は仙台市から南に 30 キロメートルほどの大河原町。付近は道路が陥没し、電気はまだ通じていない。プロパンガスが多い関係か、火事がいくつか発生した」

「水道は通じておらず、給水車が来ている。自宅の被害はなかったが、現在は近所に住む妻の実家にいる」

「県連の山崎会長は内陸部の蔵王なので、無事との連絡がついている」

「地震発生時、県連会館内で建設国保の組合会が行われていた。私も会館事務所にいた。会館は外壁にクラックが入っている。内部は物が散乱している」

「ガソリンが無いので、車での移動ができない。電話も通じないので、役員や組合員との連絡はほとんどついていない」

【全建総連福島】

停電は解除されましたが、パソコンが起動しません。四役は無事です。太平洋沿

岸の 5 単組のうち、いわき以外の 4 単組（相馬、原町、双葉、富岡）の事務所との連絡はとれません（ただし、事務局の人とは連絡がとれます）。全ての単組に被害報告を求めています。

【茨城県連】

県連会館は、損傷はないものの、事務所内は書類等が散乱している状態です。組合員は、瓦などの軽微な住宅被害を受けた方々に修繕活動を実施。県連委員長及び職員は無事であるものの、交通網が遮断されていることに加え、ガソリンが不足している影響で自動車による移動が困難な状況だが、事務所機能は回復しました。

【千葉土建・船橋支部】

12 日、委員長と副委員長が組合事務所に集まり、組合事務所近隣の被害状況を徒歩で確認したところ、住宅屋根の棟瓦が崩れる被害が多いことを確認しました。

その後、対応を協議していたところ、協議中に 2 つの自治会から屋根の応急修繕について要請がありました。要請を受け、近隣の住宅だけでも 13 日に応急修繕



須木委員長（奥）を先頭に被災者住民宅の修繕に取り組む

をして回ることを決定し、組合員と主婦の会に道具、資材を持って参加してくれるように呼びかけました。

13 日は組合員 28 人、主婦 8 人、書記 5 人が参加。9 時 30 分に集合し、打ち合わせして組合員は 3 グループに分かれて修繕に回りました。主婦の会は炊き出し、書記は写真撮影と役割分担し、午前 10 時から行動を開始しました。

行動中にも、近隣住民や組合員から修繕の要請があり、資材を買い足して 1 日対応をできる限り行動して 10 件の住宅屋根の修繕を取り組み、近隣住民や自治体役員から大変喜ばれ、町会から「感謝状を贈る」と大変喜んでいました。

船橋市防災課にも取り組みを報告したところ「市民の要望に対応してくれたことに感謝します。明日（14 日）雨が降る予報もあり、市としても消防が屋根の応急処理（シートかけ）に対応することになっています。市だけでは対応しきれないので、さらなる協力を要請するかもしれないので、宜しくお願いします」との御礼と要請を受けました。

【千葉土建・野田支部】

14日現在、組合員などからの被害などの連絡はありません。

11日夕方に野田市役所の災害対策本部へ出向き、状況を確認したところ「現在は、特別要請はない」とのことでした。

13日は、拡大予定でしたが急きょ中止。野田市役所より防災協定に基づく市民への応急修理などの要請が支部へありましたので、対応しています。

また、国道沿い（国道16号は大渋滞）ということもあり、緊急の休憩所・トイレなどに事務所を開放しています。

【新潟ユニオン】

12日未明の地震で、震度5以上に遭った組合員6人に連絡をとったところ、「風呂場にヒビが入った」「国道が通れない」などの報告をもらいました。

【長野県建設労連】

激震地であった栄村周辺に、40～50人の組合員がいますが、全員避難しています。住宅被害については、調査中なので調査済み次第、報告します。